

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科			
科目名称	日本国憲法						授業形態	講義			
科目コード	120330	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○		
担当教員名	井上 一洋								ICT活 用		
授業概要	<p>この授業では、日本国憲法が採用する統治システムおよび憲法上の権利として我々に保障されている基本的人権について学びます。統治システムに関する講義では、近代立憲主義が誕生したイギリス、さらに、それを発展させたアメリカにおける憲法の歴史的発展過程を概観しながら、日本国憲法が採用する統治システムについて理解を深めていきます。さらに、ニュースなどで報じられる政治の動きや私たちの日常生活に、この統治システムがどのような関わりを持ち、さらに、どのように機能しているのかという点もあわせて考えることで、我が国の統治システムの問題点についても検討していきます。</p> <p>また、基本的人権の講義では、まず日本国憲法の人権保障規定の背景にある基本的原理について説明を行います。その上で、重要判例を検討しながら日本国憲法が保障する基本的人権について理解を深めていきます。</p>										
関連する科目	法学、社会学、経済学、時事問題研究、社会										
授業の方法と進め方	授業では、まず教科書にそって憲法に関する基本的な知識を修得します。その後、裁判演習を行い、修得した知識の定着を図ります。判例演習では、アクティブ・ラーニングを行います。また、授業期間中に数回の小テストを行い、理解度を確認します。										
授業計画【第1回】	立憲主義とは？ 近代立憲主義思想について学びます。										
授業計画【第2回】	明治憲法と日本国憲法の違い 明治憲法と日本国憲法の違い、さらに、日本国憲法の制定史および基本的原理について学びます。										
授業計画【第3回】	権力分立制について 権力分立制のルーツとその意義、さらには、日本国憲法が採用する権力分立制について学びます。										
授業計画【第4回】	司法審査制について 日本国憲法が採用する司法審査制について学びます。										
授業計画【第5回】	議院内閣制について 日本国憲法が採用する議院内閣制について学びます。										
授業計画【第6回】	国会の仕組みについて 国会の仕組み、さらに、日本の選挙制度とその問題点について学びます。										
授業計画【第7回】	憲法9条について 近時の問題に触れながら、憲法9条をめぐる法的諸問題について検討を行います。										
授業計画【第8回】	人権の享有主体性について 日本国憲法の人権享有主体について学びます。										
授業計画【第9回】	私人間効力の問題、公共の福祉について 憲法の私人間効力の問題、さらには、人権相互の矛盾・衝突を調整するための実質的公平の原理としての公共の福祉について学びます。										
授業計画【第10回】	平等原則について 日本国憲法が保障する平等原則について、学説や判例の検討を行いながら学びます。										
授業計画【第11回】	幸福追求権 包括的人権としての幸福追求権について学びます。										

授業計画 【第12回】	思想良心の自由、信教の自由 日本国憲法が保障する思想良心の自由および信教の自由について、学説や判例の検討を行いながら学びます。
授業計画 【第13回】	表現の自由について 日本国憲法が保障する表現の自由について、学説や判例の検討を行いながら学びます。
授業計画 【第14回】	生存権 憲法25条の生存権をめぐる法的諸問題について、学説や近時の問題を踏まえながら学びます。
授業計画 【第15回】	経済活動の自由と財産権 日本国憲法が保障する経済活動の自由や財産権について、学説や判例の検討を行いながら学びます。
授業の到達目標	①市民としての基本的素養として、日本国憲法が採用する統治システムについての理解を深める。 ②我が国の統治システムをめぐる法的諸問題について判断するための分析能力・思考能力を修得する。 ③日本国憲法が保障する基本的人権についての理解を深める。 ④基本的人権をめぐる法的諸問題について判断するための分析能力・思考能力を身につける。 ⑤日本国憲法の規定が我々の日常生活にどのように関わっているのか理解する。
学位授与の方針 (DP)との関連	3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外の学習 【予習】	事前学修として、教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味等をあらかじめ調べておいてください。
授業時間外の学習 【復習】	事後学修として、授業の要点を整理をしてください。不明な箇所があれば調べたり、積極的に質問をしてください。
課題に対する フィードバック	小テストは評価後、返却及び解説をする。 定期試験は試験後に解説する。
評価方法・基準	以下の点に基づき評価します。 ①小テスト (40%) ②期末テスト (60%)
テキスト	西村裕三 (編) 「判例で学ぶ日本国憲法 [第二版]」 (有信堂、2016年)
参考書	